

令和4年度 オープンミーティング

ROAD TO 2040

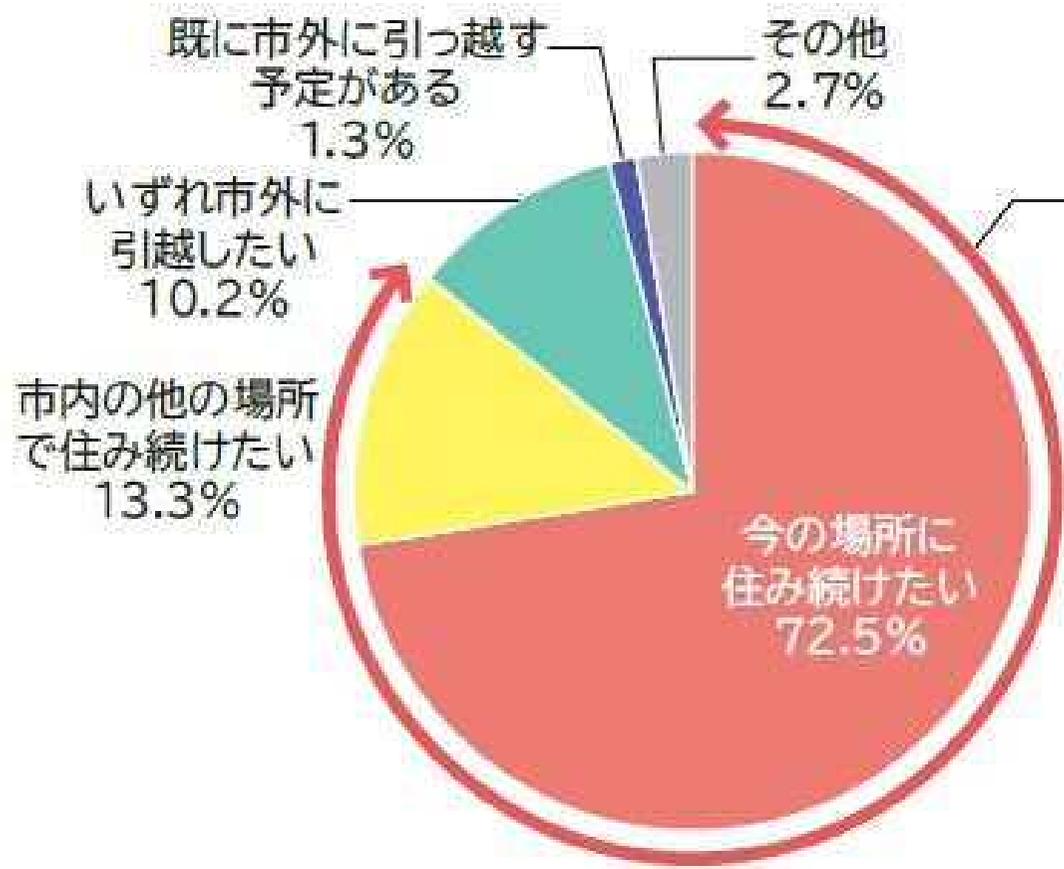
～未来の芦屋を見据えて～

① 総合計画とは？

- 行政の最上位計画
 - まちづくりの指針
 - 市のすべての計画の指針



芦屋市の現状



芦屋市内で
住みたい 85.8%

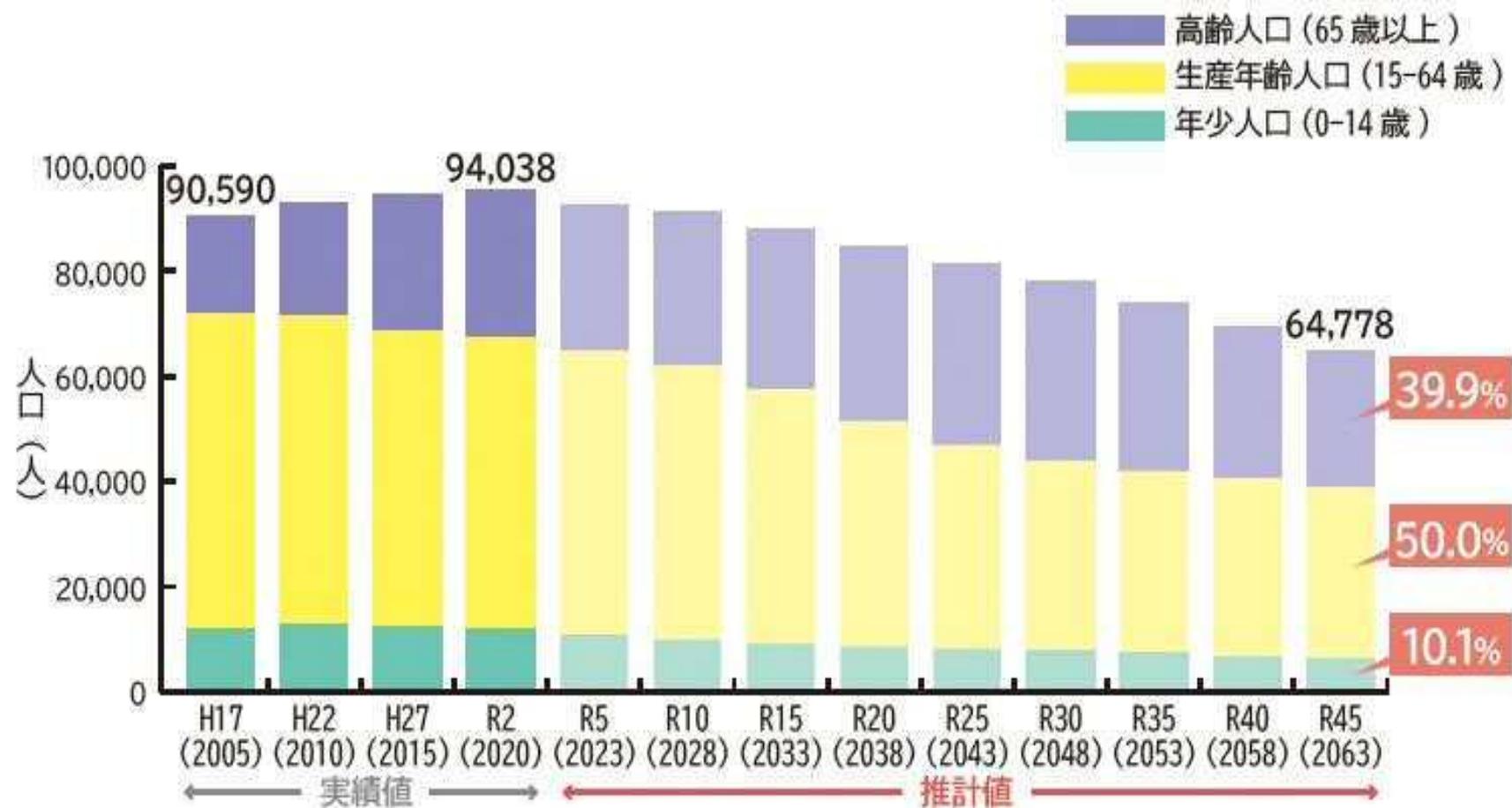
住みたい理由

- 1位 交通が便利である
- 2位 長年、住み慣れて愛着がある
- 3位 生活環境（まちの清潔さ）が良い



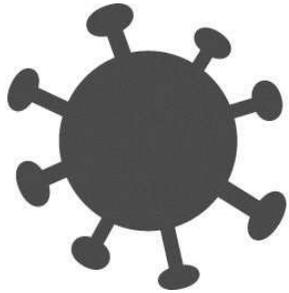
住み続けたいまち芦屋







芦屋市の課題



新型コロナウイルスへの対応

災害の激甚化



デジタルの技術の加速

etc...





総合計画の将来像

人がつながり 誰もが輝く

笑顔あふれる住宅都市

キャッチフレーズ ASHIYA SMILE BASE





打出の小道プロジェクト

ともに進めるエリアマネジメント



打出の小道プロジェクト

- 市立図書館打出分室
 - 日本庭園（打出教育文化センター）
 - 打出公園
- ▶ 歴史情緒ある施設の活用に加え、
公園と近代の日本庭園を一体的に
整備



↑市立図書館打出分室



↑打出公園



打出の小道プロジェクト

地域の方々に親しまれる公共空間を再構築

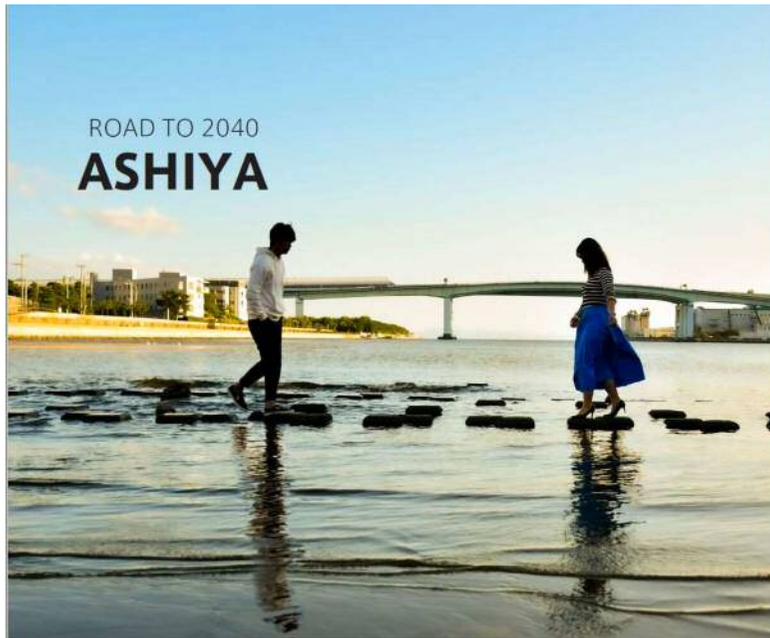
☛ 小道界隈のにぎわい拠点

<ワークショップ様子>





ROAD TO 2040



80th
ASHIYA CITY
ANNIVERSARY
BOOK

発行所：アシア市庁舎
発行年：2020年

さらに未来、2040年は
どのような社会になって
いるのでしょうか??

有識者にインタビューしました。



ROAD TO 2040



芦屋市市民参画・協働アドバイザー
山崎 亮さん

- ・新旧の対比で見える価値
- ・クルマの自動運転技術
と地域コミュニティ



ROAD TO 2040



博報堂DYホールディングスグループ広報・IR室CSRグループ推進担当部長
川廷 昌弘さん

- ・ SDGsはミライをつくる道具
- ・ みんなが主役のまちづくり



ROAD TO 2040

皆さんはどんな「芦屋のミライ」を思い描きますか？

